

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「BNYメロン・リアル・リターン・ファンド（SMA向け）（為替ヘッジあり）」は、2025年3月17日に第9期の決算を行いました。当ファンドは、主として、米ドルベースで絶対収益の追求を目指すアイルランド籍外国投資信託「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」および三菱UFJアセットマネジメント株式会社が運用する国内籍証券投資信託「マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）」に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目指して運用を行っております。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



BNY MELLON

INVESTMENT MANAGEMENT

BNYメロン・リアル・リターン・ファンド （SMA向け）（為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第9期（決算日2025年3月17日）

作成対象期間（2024年3月19日～2025年3月17日）

- 当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記方法により閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
下記のホームページの「ファンド」を選択いただき、当ファンドの「運用報告書（全体版）」を選択いただくと、閲覧およびダウンロードすることができます。

なお、過去5年間の運用報告書（全体版）につきましては「ファンド」頁下の「運用報告書（全体版）過去分」を選択いただくと、閲覧・ダウンロードすることができます。

第9期末（2025年3月17日）	
基準価額	10,437円
純資産総額	237百万円
第9期	
騰落率	△0.0%
分配金（税込み）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

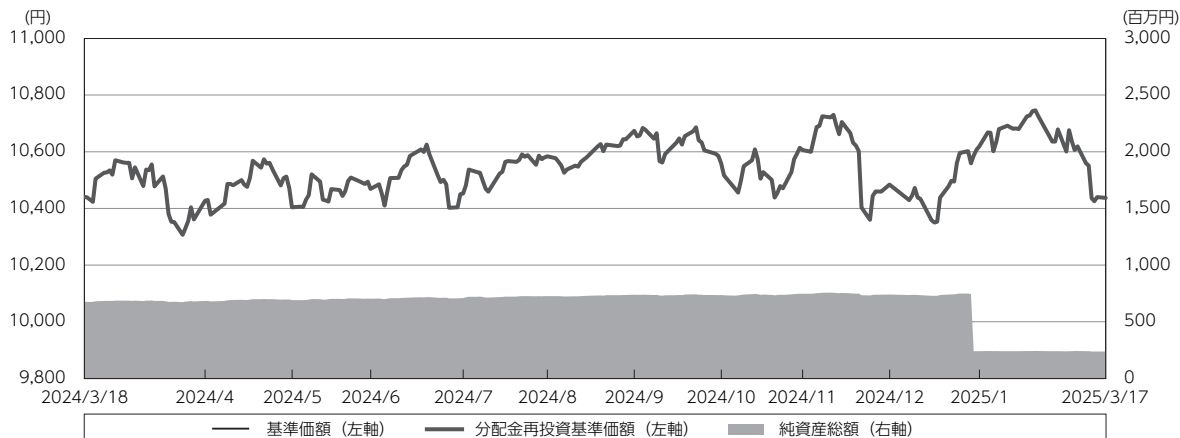
<運用報告書に関するお問い合わせ先>

電話番号：03-6756-4600（代表）

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページ <https://www.bnymellonam.jp/>

期中の基準価額等の推移



期首：10,441円

期末：10,437円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△0.0%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。期首の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(USD Xクラス)」が上昇した一方、為替変動の影響を抑えるため主要投資対象に対して対円でのヘッジを行っていたことによるコストは押し下げ要因となりました。

以下は、当ファンドの主要投資対象である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド(USD Xクラス)」の変動要因です。

(上昇要因)

- ・2024年8月から9月、米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げ観測や中国の景気刺激策などから世界株式市場が上昇し、保有した株式がプラスに寄与したこと

(下落要因)

- ・2024年4月、米国の根強いインフレ懸念を受けて年内のFRBの利下げ期待が後退して債券および株式市場が下落した結果、保有した株式や新興国債券などがマイナスに影響したこと

1万口当たりの費用明細

(2024年3月19日～2025年3月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 47	% 0.450	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,544円です。
(投信会社)	(43)	(0.411)	信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(1)	(0.011)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	72	0.679	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.008)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(13)	(0.121)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(4)	(0.036)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
(その他)	(54)	(0.515)	組入ファンドの管理報酬等
合 計	119	1.129	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

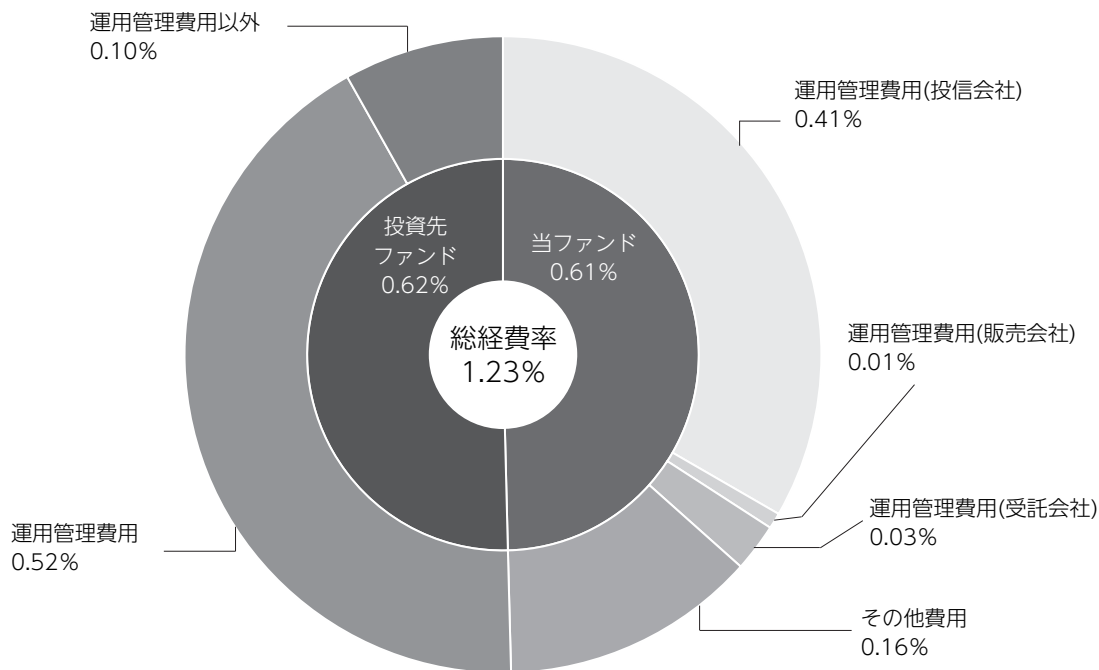
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期間末における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.23%です。



総経費率 (①+②+③)	1.23%
①当ファンドの費用の比率	0.61%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.52%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2020年3月17日 第4期末	2021年3月17日 第5期末	2022年3月17日 第6期末	2023年3月17日 第7期末	2024年3月18日 第8期末	2025年3月17日 第9期末
基準価額 (円)	8,993	11,219	11,021	10,217	10,441	10,437
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	24.8	△1.8	△7.3	2.2	△0.0
純資産総額 (百万円)	334	538	1,944	1,756	676	237

(注) 上記騰落率は、1年前の決算応当日との比較で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

投資環境

株式市場

世界株式市場は、期初から2024年4月下旬までは、米国の根強いインフレ懸念を受けて年内のFRBの利下げ期待が後退して上値が重い展開となりましたが、その後は半導体関連銘柄の好決算などを背景に上昇しました。7月中旬以降、軟調な米国の労働市場や、AI（人工知能）の収益化に対し市場が疑問視したことで、一時急落しましたが、9月、FRBによる利下げの実施や、米国の底堅い経済指標を背景に、再び上昇基調で推移しました。11月には米国大統領選においてトランプ氏が勝利したことにより、拡張的財政政策や規制緩和への期待から上昇しました。12月以降は堅調な米国経済を背景に、利下げペースの鈍化懸念から、米国の長期金利の上昇の影響を受け、軟調に推移しました。その後2025年1月中旬以降はインフレ懸念の低下により、金利引き下げ継続に対する期待を背景に上昇しましたが、2月の中旬以降はトランプ大統領の関税政策の経済への影響が懸念されたことや、米国経済指標に弱さが見られ始めたことなどを背景に下落しました。

債券市場

2024年4月、米国のインフレ長期化の見通しからFRBの利下げが後ずれするとの見方が強まり、米国や欧州の国債利回りは上昇基調を辿りました。5月から9月にかけては、米国のインフレ鈍化や軟調な労働市場を受けて利下げが確実視される中で米国債をはじめ、多くの主要先進国の国債利回りは低下しました。10月から2025年1月にかけては、堅調な米国の経済指標や根強いインフレ懸念などから利下げペースが想定より緩慢となるとの見方が浮上したことや、米大統領選においてトランプ氏が勝利し財政赤字の拡大懸念が強まった結果、主要国債利回りは総じて上昇しました。2月から期末にかけては、米国の経済減速懸念から米国債利回りの低下が目立ちました。

為替市場

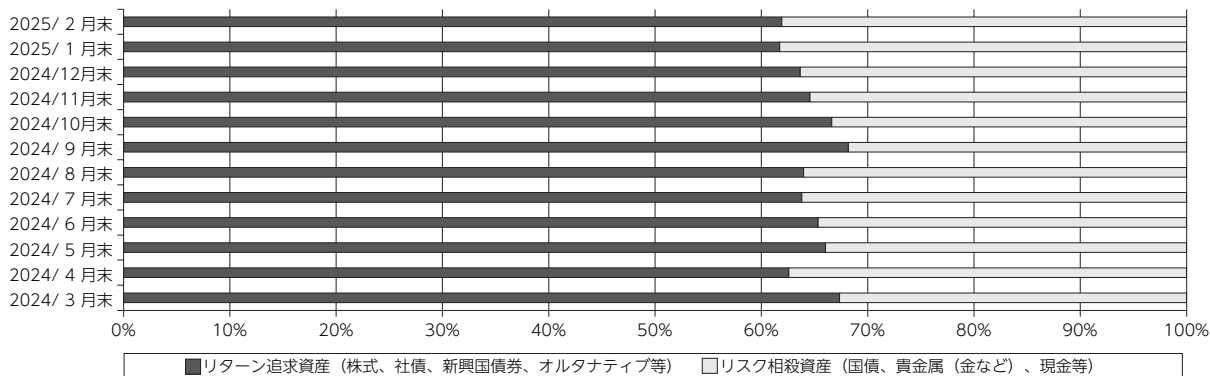
日銀が緩和的な金融政策を維持する方針を表明したため、2024年3月以降は円安傾向が継続しましたが、7月に入ると日銀の利上げ実施の可能性の高まりとFRBによる利下げが意識される中、円高米ドル安となりました。その後7月末に日銀が実際に利上げに踏み切ると一段と円高が進展しましたが、9月のFRBによる利下げ決定以降は、日銀の追加利上げに対する慎重な姿勢や、米国の利下げペースの鈍化が意識されたことで、再び円安米ドル高が進展しました。2025年1月以降は日銀が再び利上げに踏み切ったことに加え、日銀の追加利上げの継続が意識されたことを背景に日米の金利差が縮小する中、円高米ドル安となりました。

当ファンドのポートフォリオ

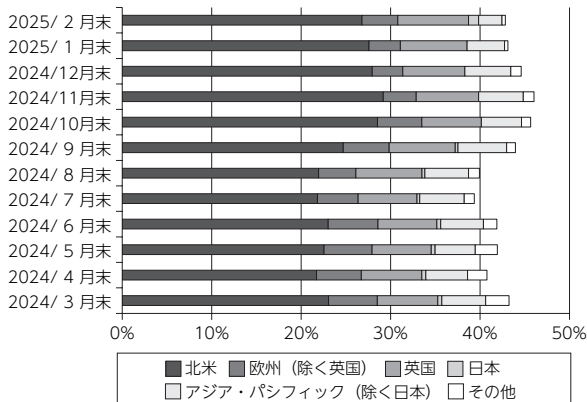
当ファンドは、主として、「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」および「マネープールファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）」に対する投資を行いました。期を通じて「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」の組入比率を高位に保ちました。為替については、米ドルに対して為替ヘッジを行いました。

主要投資対象である「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド（USD Xクラス）」においては、主として、世界の株式、債券、通貨等を中心に、リート（不動産投資信託証券）、コモディティ（商品）およびその他の代替投資商品（オルタナティブ資産）への投資を行い、様々な投資環境に柔軟に対応しながら、下記のグラフのように投資配分の変更を行い、中長期的に米ドルベースで絶対収益の追求を目指して運用が行われました。

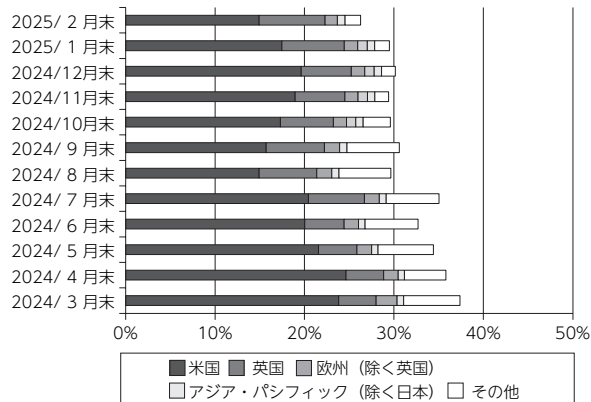
資産配分の推移



株式の国別配分推移



債券の国別配分推移



当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数などは設定していません。

分配金

当期の収益分配については、基準価額の水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。分配に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第9期
	2024年3月19日～ 2025年3月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,311

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)」および「マネープールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)」に対する投資を継続してまいります。

投資比率については、「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)」への配分を高位に保ってまいります。また、為替については、米ドルに対して為替ヘッジを行います。

引き続き、信託財産の中長期的な成長を目指してまいります。

■お知らせ

該当事項はございません。

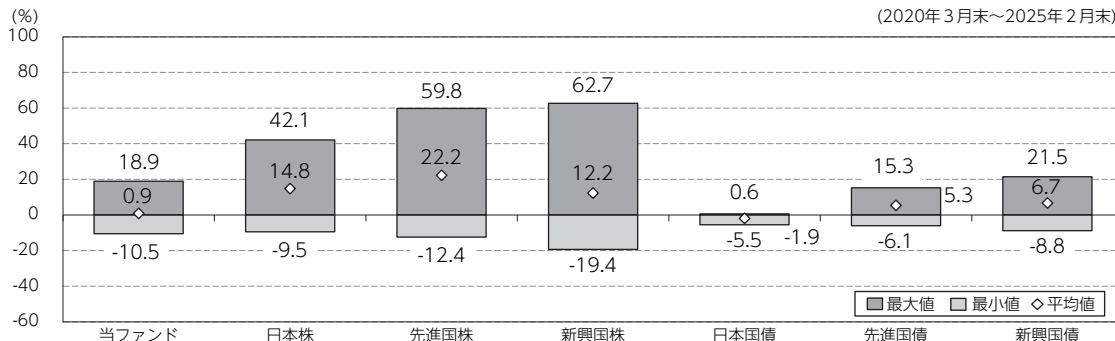
■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2033年3月17日まで
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本とします。
主要投資対象	米ドルベースで絶対収益の追求を目指すアイルランド籍外国投資信託「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)」および三菱UFJアセットマネジメント株式会社が運用する国内籍証券投資信託「マネープールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)」を主要投資対象とします。
運用方法	①「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)」の組入比率は高位を保つことを基本とします。 ②「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)」においては、世界の株式、債券、通貨を中心に、リート（不動産投資信託証券）、コモディティ（商品）およびその他の代替投資商品への投資を行います。また、効率的なポートフォリオ運用およびリスクヘッジ目的でデリバティブ商品に投資を行う場合があります。 ③外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行います。 ④市況動向、資金動向その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
分配方針	毎決算時（原則として毎年3月17日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として、基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2020年3月末～2025年2月末)



(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年3月から2025年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という) が算出・公表している、日本の株式を対象として算出した株価指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、JPXに帰属します。

先進国株・・・MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

日本国債・・・NOMURA - BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE Fixed Income LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

各資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

■当ファンドのデータ

組入資産の内容

○組入上位ファンド

(2025年3月17日現在)

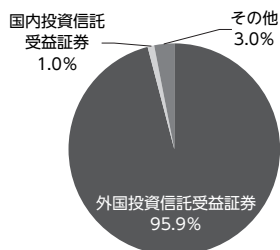
銘柄名	第9期末
BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)	95.9 %
マネープールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	1.0
組入銘柄数	2銘柄

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

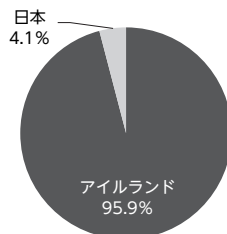
(注) 組入上位ファンドの概要については、11ページ以降をご参照ください。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

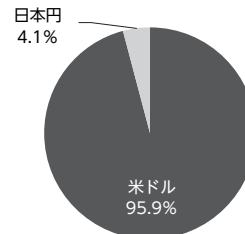
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。小数点第二位以下を四捨五入しており、合計値が100%にならないことがあります。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分につきましては通貨別純資産の比率です。

純資産等

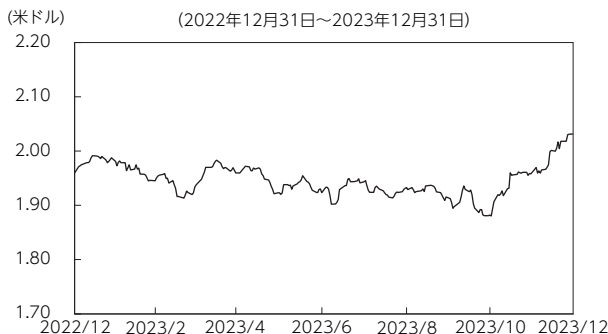
項目	第9期末
	2025年3月17日
純資産総額	237,492,445円
受益権総口数	227,547,308口
1万口当たり基準価額	10,437円

(注) 期中における追加設定元本額は123,721,996円、同解約元本額は544,099,036円です。

組入上位ファンドの概要

◆BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)

【基準価額の推移】



【1口当たりの費用明細】

直近の主要投資情報書面にて開示されている継続手数料 (ongoing charge) は0.10%です。

(注) 当ファンドの本書作成時点にて開示されている直近の会計年度末は2023年12月31日です。

【株式組入上位5銘柄】

(2023年12月31日現在)

	銘柄名	国	業種	組入比率 (%)
1	マイクロソフト	米国	情報技術	2.3
2	シェル	オランダ	エネルギー	2.1
3	エヌビディア	米国	情報技術	1.6
4	台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング	台湾	情報技術	1.3
5	アマゾン・ドット・コム	米国	一般消費財・サービス	1.3
全銘柄数			51銘柄	

【債券組入上位5銘柄】

(2023年12月31日現在)

	銘柄名	国名	通貨	クーポン (%)	償還日	組入比率 (%)
1	米国変動利付国債	米国	米ドル	5.531	2025/01/31	18.8
2	米国物価連動国債	米国	米ドル	1.250	2028/04/15	4.0
3	メキシコ国債	メキシコ	メキシコペソ	8.000	2047/11/07	3.1
4	ブラジル国債	ブラジル	ブラジルリアル	0.000	2027/07/01	2.9
5	メキシコ国債	メキシコ	メキシコペソ	7.750	2031/05/29	1.5
全銘柄数			31銘柄			

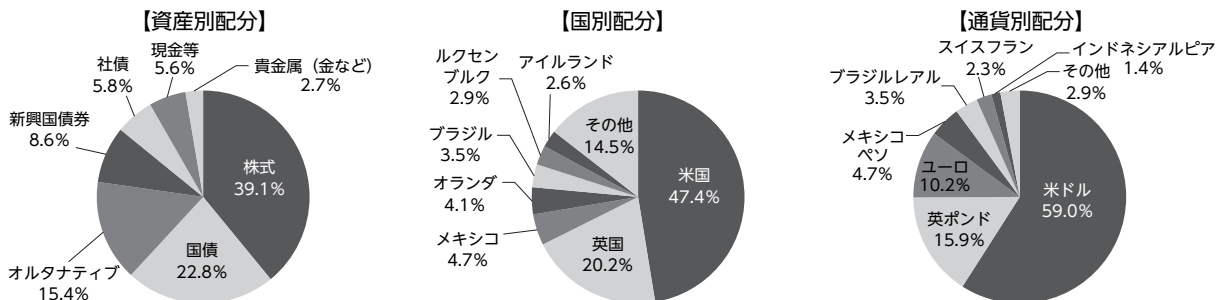
(注) 組入比率は、純資産総額を100%として計算した値です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) 上記は、当ファンドで投資するXクラス以外の他のクラスを含む「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD)」全体の内容です。

組入上位ファンドの概要

◆BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD Xクラス)



(注) 小数点第二位以下を四捨五入しており、合計値が100%にならないことがあります。

(注) 資産別配分は、組入ファンドの運用会社の判断による一定の資産区分基準に基づいた参考値で、純資産総額を100%として計算した値です。

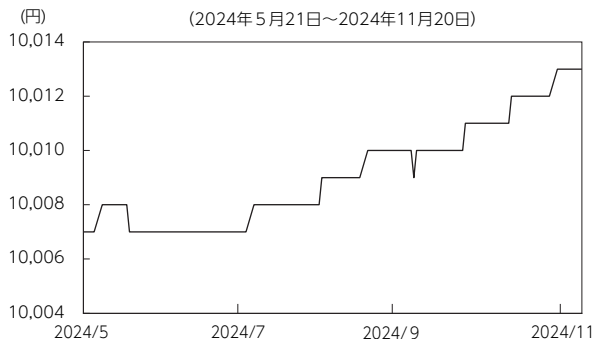
(注) 国別配分、通貨別配分は、現金・現金同等証券、先物、オプション等を除いた有価証券部分を100%として計算した値です。

(注) 上記は、当ファンドで投資するXクラス以外の他のクラスを含む「BNYメロン・グローバル・リアル・リターン・ファンド (USD)」全体の内容です。

◆マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）

「マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）」は、「マネー・マーケット・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としております。なお、以下に記載した情報は、委託会社である三菱UFJアセットマネジメント株式会社から入手したデータの一部を抜粋・転記したものです。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年5月21日～2024年11月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬	円	%
（投信会社）	2	0.017
（販売会社）	(1)	(0.005)
（受託会社）	(1)	(0.006)
合計	2	0.017
期中の平均基準価額は、10,009円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、2ページをご参照ください。
 (注) 当ファンドの決算は、年2回であり、直近の決算期末（第28期末）は2024年11月20日です。

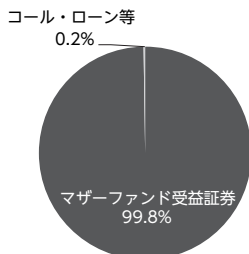
【組入上位ファンド】

銘柄名	第28期末
マネー・マーケット・マザーファンド	99.8%
組入銘柄数	1銘柄

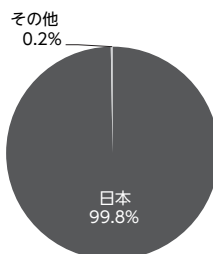
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【資産別配分】



【国・地域別配分】



【通貨別配分】



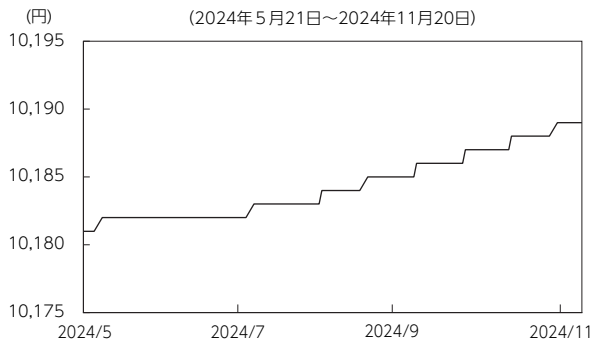
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

(注) 国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含まれます。

(注) 国・地域別配分、通貨別配分は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

<ご参考> マネー・マーケット・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

2024年5月21日～2024年11月20日
 当期において費用が発生していないため、費用明細は作成して
 おりません。

【組入上位10銘柄】

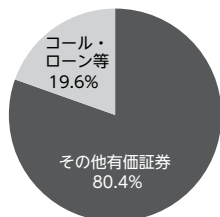
(2024年11月20日現在)

	銘柄名	種類	国・地域	業種/種別	比率 %
1	マルイグループ 241121	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	54.8
2	JFE 241121	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	18.3
3	コスモエネHD 241121	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	7.3
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			3銘柄		

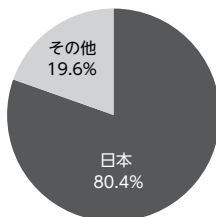
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 原則、国・地域については、発行地を表示しています。

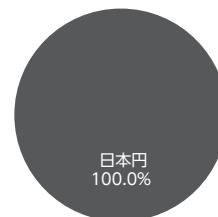
【資産別配分】



【国・地域別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

(注) 原則、国・地域については、発行地を表示しています。

(注) 国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。